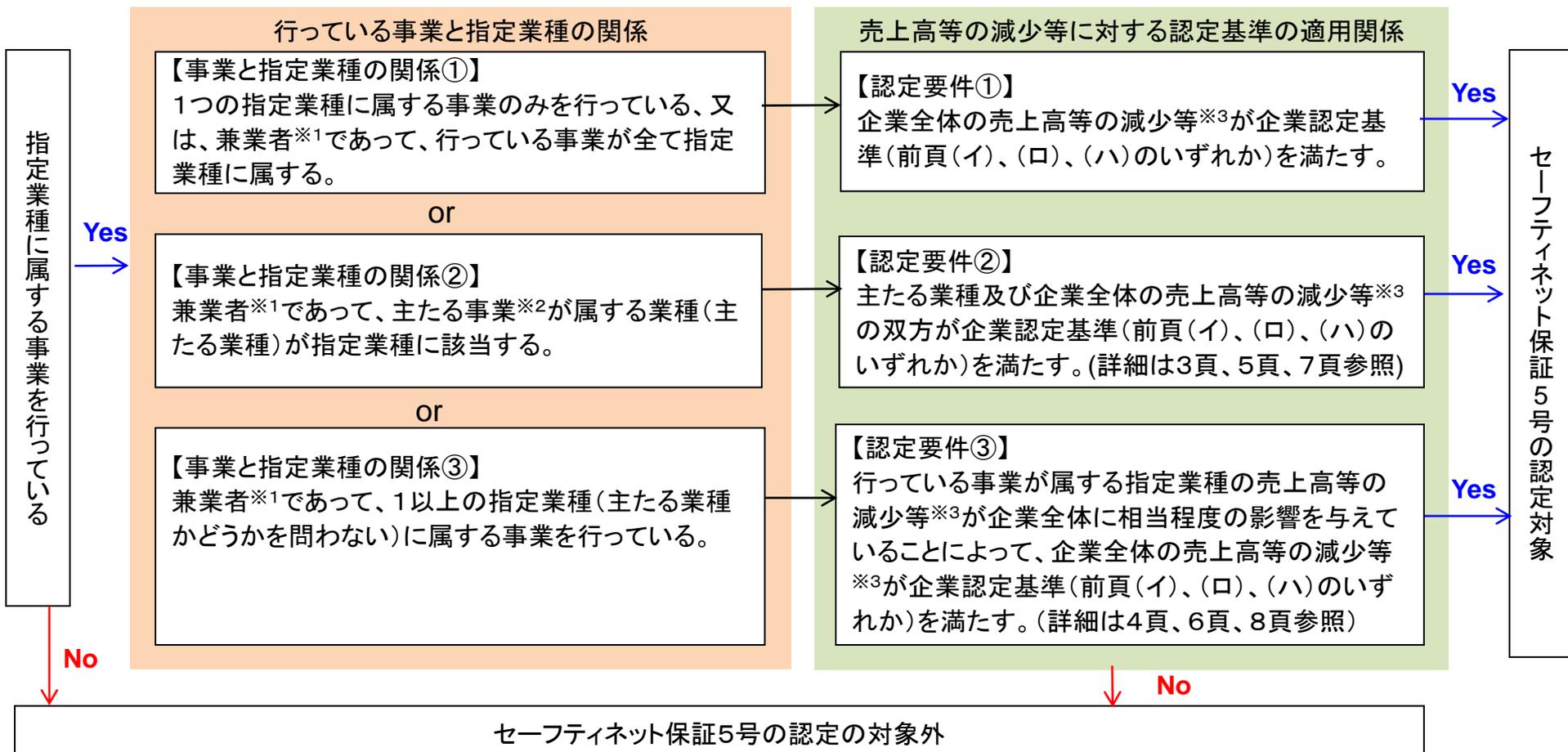


# 企業認定基準の具体的な適用関係

セーフティネット保証5号は、指定業種に属する事業の売上高等の減少等によって経営の安定に支障が生じている中小企業者を対象とするものであることを踏まえ、企業認定基準(前頁(イ)、(ロ)、(ハ))の具体的な適用関係は、以下のような類型に分かれる。



※1: 兼業者とは、2以上の細分類業種に属する事業を行っている中小企業者をいう。

※2: 主たる事業とは、最近1年間の売上高等が最も大きい事業をいう。

※3: 売上高等の減少等には、原油等の仕入価格の上昇を製品等の価格に転嫁できていないことを含む。

注) 事業と指定業種の関係①から③について複数の関係に当てはまる場合、どの関係に基づいて認定申請を行うかは、申請者が選択可能。

# 認定要件②に係る(ロ)の基準の取扱い (主たる業種及び企業全体双方に係る原油等の仕入価格の上昇等に係る要件)

○以下の要件のいずれも満たすこと。

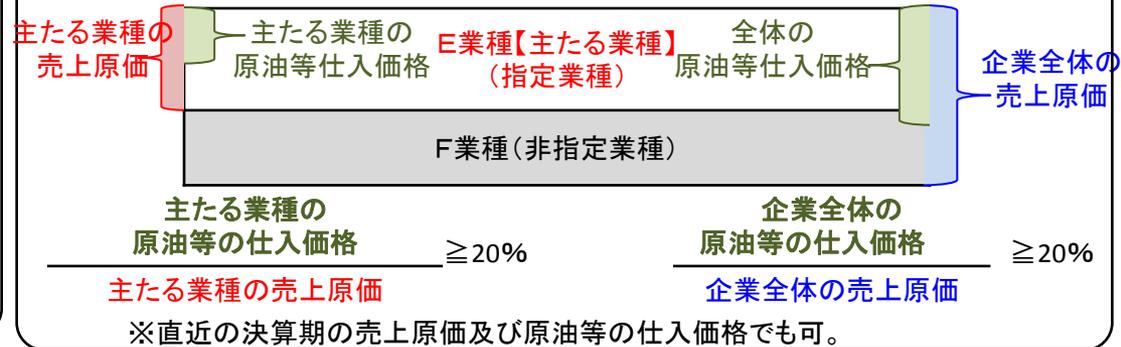
- ①主たる業種及び企業全体それぞれについて、原油等の最近1か月の平均仕入単価が前年同月比で20%以上上昇（主たる業種及び企業全体の原油等の仕入単価の上昇率）
- ②主たる業種及び企業全体それぞれについて、売上原価に対する原油等の仕入価格の割合が20%以上（主たる業種及び企業全体の原油等への依存率）
- ③主たる業種及び企業全体それぞれについて、最近3か月の売上高に占める原油等の仕入価格の割合が、前年同期の売上高に占める原油等の仕入価格の割合を上回っていること（主たる業種及び企業全体の価格転嫁の状況）

○上記①から③の適用関係のイメージは以下のとおり。

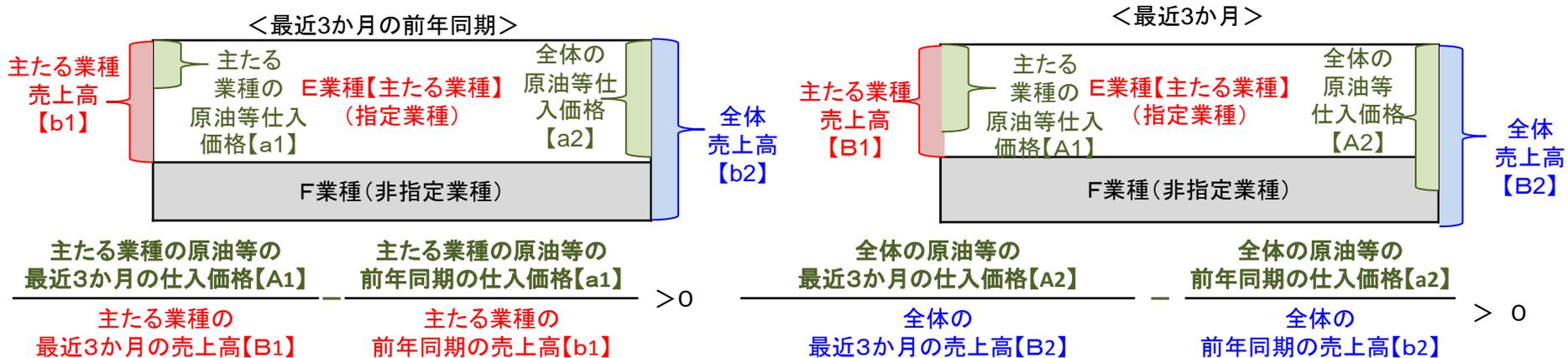
### ①原油等の仕入単価の上昇率

主たる業種の 最近1か月の 原油等の仕入単価	$\geq 20\%$	全体の 最近1か月の 原油等の仕入単価	$\geq 20\%$
主たる業種の 最近1か月の 前年同月の 原油等の仕入単価		全体の 最近1か月の 前年同月の 原油等の仕入単価	

### ②原油等への依存率



### ③指定業種及び企業全体の価格転嫁の状況



# 認定要件③に係る(ロ)の基準の取扱い

(指定業種に係る原油等の仕入価格の上昇等を指定業種及び企業全体の製品等の価格に転嫁できていないことに係る要件))

○以下の要件のいずれも満たすこと。

- ①指定業種に係る原油等の最近1か月の平均仕入単価が前年同月比で20%以上上昇（原油等の仕入単価の上昇率）
- ②企業全体の売上原価のうち、指定業種に係る原油等の仕入価格が20%以上（原油等への依存率）
- ③指定業種の最近3か月の売上高に占める原油等の仕入価格の割合が、指定業種の前年同期の売上高に占める原油等の仕入価格の割合を上回っていること（指定業種に係る価格転嫁の状況）
- ④企業全体の最近3か月の売上高に占める指定業種の原油等の仕入価格の割合が、企業全体の前年同期の売上高に占める指定業種の原油等の仕入価格の割合を上回っていること（企業全体に係る価格転嫁の状況）

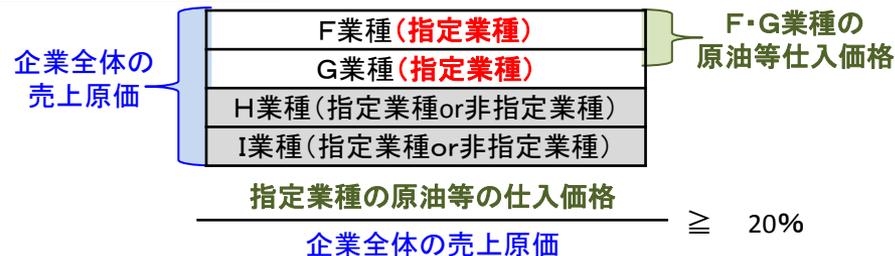
○上記①から④の適用関係のイメージは以下のとおり。

## ①原油等の仕入単価の上昇率

$$\frac{\text{指定業種の最近1か月の原油等の仕入単価}}{\text{指定業種の最近1か月の前年同月の原油等の仕入単価}} \geq 20\%$$

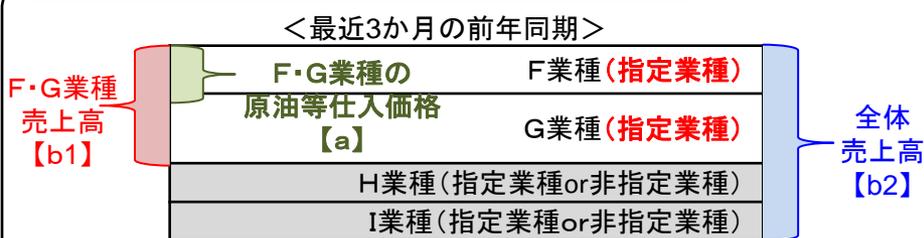
※F業種・G業種に係る原油等の仕入単価の上昇率を算出

## ②原油等への依存率



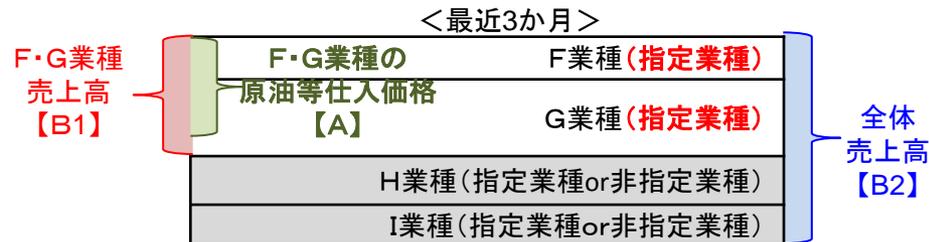
※直近の決算期の売上原価及び原油等仕入価格でも可。F・G業種に係る原油等仕入価格は合算値でも可。

## ③指定業種及び④企業全体の価格転嫁の状況



### ③指定業種に係る価格転嫁の状況

$$\frac{\text{指定業種の原油等の最近3か月の仕入価格【A】}}{\text{指定業種の最近3か月の売上高【B1】}} - \frac{\text{指定業種の原油等の前年同期の入価格【a】}}{\text{指定業種の前年同期の売上高【b1】}} > 0$$



### ④企業全体に係る価格転嫁の状況

$$\frac{\text{指定業種に係る原油等の最近3か月の仕入価格【A】}}{\text{企業全体に係る最近3か月の売上高【B2】}} - \frac{\text{指定業種に係る原油等の前年同期の仕入価格【a】}}{\text{企業全体に係る前年同期の売上高【b2】}} > 0$$

※計算結果が0より大きければ要件を満たす。F・G業種に係る原油等の仕入価格及び売上高は合算値でも可。